

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

平成30年 6月 日

愛知県知事 殿

提出者 〒475-0033  
 住所 愛知県半田市日東町4番29  
 氏名 アイシン精機株式会社 半田工場 工場長 佐伯 新吾  
 電話番号 0569-24-6740

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	アイシン精機株式会社 半田工場
事業場の所在地	愛知県半田市日東町4番29
計画期間	平成30年4月1日 ～ 平成31年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	31 輸送用機械器具製造業
②事業の規模	2,060億円
③従業員数	2,200名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>自動車の走行部品を製造</p> <p><u>走行系商品製造工程</u>                      原材料 → 切削加工 → 組付 → 検査出荷                      ↓ ↓                      廃液 梱包材</p> <p><u>自動車用半導体製品製造工程</u>                      原材料 → 樹脂成形端材切断 → 組付 → 検査出荷                      ↓ ↓                      樹脂端材 梱包材</p>

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

半田工場環境管理統括者……………半田工場工場長

地区環境課

廃棄物処理……………課長 (産業廃棄物処理責任者)

担当者 (産業廃棄物処理施設技術責任者)

廃棄物処理委託……………特別管理産業廃棄物処理責任者

担当者 (マニフェスト管理)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (平成 29年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	別紙の通り	
	(これまでに実施した取組) 工程内不良の低減のために、各ライン別に品質強度のランク分けをして、ランク向上を通して、廃却物そのものの低減を図るとともに、製造副資材の中でも、廃液低減の観点から、有効寿命の見極めをして、切削油の交換頻度見直しを図っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	別紙の通り	
	(今後実施する予定の取組) 前年度に引き続き、品質強度のランク分け及びランク向上を通して廃却量低減を図るとともに、生産工程についても、切削油の有効寿命の見極めをして、切削油等の交換頻度見直しを通して廃液低減を図る。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 硬質プラスチック、軟質プラスチック、金属付プラスチックの大分類から材質ごとに分類をしている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 当事業場の後工程に当たる産業廃棄物処理業者の処理に合わせて、分別をする。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		
①現状	【前年度（平成29年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙の通り
	（これまでに実施した取組） ・自ら行う産業廃棄物の再生利用は無し。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙の通り
	（今後実施する予定の取組） ・現時点では、産業廃棄物の再生利用の予定無し。	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		
①現状	【前年度（平成29年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙の通り
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙の通り
（これまでに実施した取組） 蒸気式スクリーンプレスにより、排水処理場汚泥の脱水率向上を図り、また工場廃液を集中した廃液の濃縮工程において、蒸気吐出により濃縮向上（水分除去）を図り、廃棄物の量低減を図っている。		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙の通り
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙の通り
（今後実施する予定の取組） 前年に引き続き、排水処理場汚泥の脱水率向上、工場廃液の濃縮向上を図る。		

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（平成29年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙の通り
	(これまでに実施した取組)	
	・自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分は無し。	
	【目標】	
②計画	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙の通り
	(今後実施する予定の取組)	
	・埋立処分又は海洋投入処分の予定無し。	

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（平成29年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	全処理委託量	別紙の通り
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙の通り
	再生利用業者への処理委託量	別紙の通り
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙の通り
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙の通り
	(これまでに実施した取組)	
	優良産廃処理業者認定業者である ダイセキ、ダイセキ環境ソリューション、三河代用燃料 サンエイ、豊田ケミカルエンジニアリングへ委託実施	

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	全処理委託量	別紙の通り
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙の通り
	再生利用業者への 処理委託量	別紙の通り
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙の通り
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙の通り
	(今後実施する予定の取組) 前年に引き続き、廃棄物処理委託の前に廃棄物処理業者の 現地点検を行ってから産業廃棄物処理契約を結ぶとともに、 現在処理を委託している業者についても、現地点検を行い、 不法投棄撲滅に務める。また、廃棄物処理業者の選択については 認定業者かどうかも判断指標の一つとする。	
※事務処理欄		

産業廃棄物の種類		汚泥 (脱水汚泥他)	廃油 (濃縮廃液他)	廃プラスチック類	木くず	金属くず	廃酸	ガラスくず	廃アルカリ		合計
〈産業廃棄物の排出の抑制に関する事項〉	現状	3,033	628	520	3	1	0	1	2		4,187
	計画	2,881	597	468	3	1	1	1	2		3,954
〈自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項〉	現状	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	計画	0	0	0	0	0	0	0	0		0
〈自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項〉	現状	3,019	600	0	0	0	0	0	0		3,619
	計画	2,868	570	0	0	0	0	0	0		3,438
〈自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項〉	現状	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	計画	0	0	0	0	0	0	0	0		0
〈産業廃棄物の処理の委託に関する事項〉											
全処理委託量	現状	28	29	520	3	1	0	1	2		583
	計画	25	27	468	3	1	1	1	2		528
優良認定処理業者への処理委託量	現状	14	29	27	3	1	0	1	2		76
	計画	14	27	26	3	1	1	1	2		75
再生利用業者への処理委託量	現状	28	29	520	3	1	0	1	2		583
	計画	25	27	468	3	1	1	1	2		528
認定熱回収業者への処理委託量	現状	0	29	0	0	0	0	0	0		29
	計画	0	27	0	0	0	0	0	0		27
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	現状	10	0	27	0	0	0	0	2		39
	計画	10	0	26	0	0	1	0	2		39